

長学
研長
事研
理特

再生・細胞治療の実用化へ

医・松本教授らに決定

医学部の松本太郎教授
を代表とする「日本大学
発技術を用いた再生・細
胞治療の実用化に向けた
学部横断的研究」がこの
ほど、2021年度「理事
長・学長特別研究」の採
択研究課題に決まった。

「理事長・学長特別研
究」は、21年度に大幅に
拡充された本学の研究助
成金制度の中心。従来の
「理事長特別研究」と
「学長特別研究」を一本
化して採択数を1本に絞
り、年間1億円、2年間
で最大2億円を限度とし
て助成する。

4月末に募集を開始
し、5件の申請の中から
目的や研究方法、本学の

歯、生物資源科学部の15
人の教員で構成されてお
り、学部を横断して研究
を進展させる予定だ。

決まった。対象課題は理
工学部小林伸彰准教授の
「深層学習による高効率
なIoT向け脳機械工
ツジデバイスの開発」な
ど計9件で、交付総額は
2683万円（1件につ
き上限300万円）。

第1416号



発行所 日本大学新聞社
東京都千代田区九段南4-8-24
〒102-8275 電話03-5275-8144
郵便振替口座 東京6-119766
〈大正10年10月15日創刊〉
(毎月20日発行・8頁120円)

ホームページ
<http://www.nu-press.net/>
Eメール
nup.info.news@nihon-u.ac.jp